

## 1

特集 スレッドリフト —10人の術者による症例解説—

# TESSLIFT SOFTによる リフトアップ効果

田中亜希子

医療法人社団英療会 あきこクリニック 院長

美容皮膚科だけでなく美容外科においても、近年は切るリフトアップ（いわゆるフェイスリフト）手術は激減しており、スレッドリフトによるたるみ治療が増えている。スレッドには溶けないものと溶けるものがあるが、筆者は溶ける糸のみを数種類使用している。そのなかでもとくにTESSLIFT SOFTを愛用している。スレッドリフトの根本的な考え方や必要な知識について、TESSLIFT SOFTの特徴についておよびその効果的な挿入方法について紹介する。

## はじめに

溶ける糸によるリフトは幅広い年代の患者に支持されており、当院では20～70代までの患者がスレッドリフトを受けている。一度スレッドリフトを受けて効果を実感すると、1～2年ごとに繰り返し施術を受けるリピーター患者になるので、最初の施術がとても重要になる。スレッドリフトが適している患者を選び、その患者に合ったスレッドを選ぶことと、最初に患者に対してきちんとしたカウンセリングを行うことが大切である。

## スレッドリフトの基礎知識

### スレッドリフトの基本概念

スレッドリフトを行う際に、たるみを引っ張ってどこかに括り付けるという概念で行うとしっかりとした効果が出せず、なおかつ効果の戻りも早い。引っ張れば引っ張るほど作用反作用により戻るのが早いからである。引っ張るというよりは、下垂している脂肪を位置移動して有効活用するという概念で行うと、きちんとした効果を得ることができて効果の持続も長くなる。



図1 TESSLIFT SOFTの構造

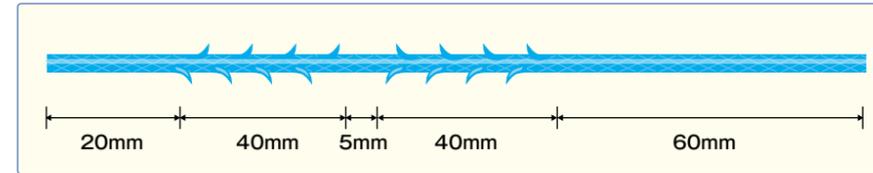


図2 TESSLIFT SOFTのコグの付いている部分

## スレッドリフトのカウンセリング

加齢によりさまざまな変化が同時に起こることがわかってきた。骨萎縮・脂肪の萎縮と下垂・支持靭帯のゆるみ・皮膚の弾力性の低下などについて患者にも説明し、さまざまな変化に対してはさまざまな治療法を組み合わせる必要があることを理解してもらう。スレッドリフトの役目は下垂した脂肪を移動し、理想的な輪郭形成をすることであり、シワ取りとは違うことをきちんと説明しておくことが大切である。治療の効果は施術直後からある程度は実感できるが、スレッドの周りにコラーゲンが生成されて肌の質感が変わるのを実感できるのは施術後約1か月である。さらにタイトニング効果を実感できるのは施術後約2～3か月であることもあらかじめ説明しておくことよい。

## スレッドリフトの種類

溶けない糸と溶ける糸があり、溶ける糸の素材としてはPDO（ポリジオキサノン）、PLLA（ポリ乳酸）、PCL（ポリプロラクトン）が主流である。PDOは一般的に4～5か月程度、PLLAは12～18か月程度、PCLは24～36か月程度で加水分解されて吸収される。

## スレッドリフトの合併症

スレッドリフトの合併症としてはディンプルと感染がある。ディンプルは正しい患者選択と正しい挿入方法でほぼ回避することができる。感染は清潔操作と抗生物質の内服と針穴のテープ保護でほとんど予防することができる。

## TESSLIFT SOFTについて

### TESSLIFT SOFTの特徴

TESSLIFT SOFT（ZISHEL社、韓国）はPDO素材のコグを細いメッシュで包んだ糸を18Gのカニューーラ針に挿入した製品である（図1・図2）。非常に引き上げ力も強く、メッシュ内にまでコラーゲン生成が行われるため、通常のPDO糸と比べて引き上げ効果の持続期間が1～2年と長い。また、皮下脂肪との接触面積が広いいため、PDOの脂肪萎縮作用がしっかりと出て、施術後2～3か月に最も引き締め効果が感じられる。